

## 会 議 録

会議の名称	第3回特別支援ネットワーク協議会
事務局	小金井市教育委員会学校教育部指導室
開催日時	平成22年5月21日（金）午後3時より午後5時まで
開催場所	前原暫定集会施設1階 A 会議室
出席者 (25名)	<p>&lt;委員&gt;</p> <p>小林美都江（学校教育部長）  豊岡 弘敏（指導室長）  鈴木 遵矢（庶務課長）  前島 賢（学務課長）  尾崎 充男（生涯学習課長）  佐久間育子（障害福祉課長）  高橋 茂夫（健康課長）  川村 久恵（子育て支援課長）  小野 朗（保育課長）  門田 順子（児童青少年課長）  渡邊 孝之（私立幼稚園協会代表）  鈴木 律子（民間保育園園長会代表）  渡辺 真紀（PTA連合会代表）  堀 恵（特別支援学級保護者会代表）  栗原 博（小平児童相談所長）  齊藤 修（障害者就労支援センター所長）  村岡 輝一（障害者センター所長）  高橋 智（東京学芸大学教授）  浜井 一郎（公募市民）  馬場 利明（公募市民）</p> <p>&lt;臨時委員&gt;</p> <p>佐野 志保（ピノキオ幼稚園保護者）  小野山 直美（せいしん幼稚園保護者）  尾島 聖子（小金井特別支援学校保護者）</p> <p>&lt;事務局 &gt;</p> <p>神田 恭司（指導室長補佐）  浜田 真二（指導主事）</p>
傍聴の可否	(可) ・ 一部不可 ・ 不可

傍聴者数	10人
傍聴不可等の理由等	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 あいさつ</li> <li>2 委嘱状の交付</li> <li>3 自己紹介</li> <li>4 協議</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 協議会の開催時間について</li> <li>(2) 臨時委員について</li> <li>(3) 特別支援教育推進上の課題について</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>5 事務連絡</li> </ol>
主な発言 要旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 あいさつ（小林部長） お集まりありがとうございます。第1回協議会では取組報告及び講演会があった。その中で就学時や就労時の課題があげられた。第2回は、臨時委員についての提案、またそれぞれの立場からの特別支援教育推進上の課題を出し合った。本日はその課題を整理し、協議していく。</li> <li>2 委員の委嘱について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委嘱状を交付する。承諾書の提出をお願いします。（事務局）</li> </ul> </li> <li>3 自己紹介 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員からの自己紹介（全委員）</li> </ul> </li> <li>4 協議（議長は小林部長）</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 開催時間について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 【資料2】のアンケート結果のとおりである。3時～5時とした。次回も希望をとる。（事務局）</li> <li>（異議なし）</li> </ul> </li> <li>(2) 臨時委員について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨時委員を紹介する。よろしくお願いします。本協議会開催時に保育所として別の部屋を設置した。保育課から保育士を配置した。通級指導学級の保護者を臨時委員にすることについて協議して欲しい。（事務局）</li> <li>・ 通常の学級に在籍し、通級指導学級に通う保護者を委員に加えたい。特別支援教育推進のために必要である。特別支援学級設置校長会から推薦してもらおう。（豊岡指導室長）</li> <li>・ 小・中学校どちらか。中学校がよいと考えるが。（馬場委員）</li> <li>・ 検討したい。設置校長会は特別支援学級がある5校の校長が</li> </ul> </li> </ol>

集まる。今年度から設置校長会を開催し、情報交換や授業参観等を行い、さらなる特別支援教育の推進をしている。(豊岡指導室長)

- ・出席いただくことで進めたい。(小林部長)

- ・特別支援学校高等部の委員がいないが何か意味あるのか。(斎藤委員)

- ・特に意味はない。意見を参考に検討していきたい。(豊岡指導室長)

- ・必要な時に呼んで、意見を伺うことでいかがか。すぐにではなく、皆さんに意見を聞いてから出席をお願いする。(小林部長)

### (3) 課題の整理について

- ・第2回の協議会で挙げられた課題は長期・短期に2つに分けられる。短期的課題として、①障害児をもたない保護者は、自分たちの問題として受け止められない人もいる。②就学前・就労への連続性が円滑でない。長期的課題として、③発達支援センターの設置。(事務局)

- ・発達支援センターの設置は長期的課題ではない。すぐに設置すべき重点課題である。「のびゆく子どもプラン」でも議論してきた。意見ではなく事実確認である。(高橋委員)

- ・市の課題はどれも先延ばしにできない。発達支援センターの設置は重要なことである。予算がかかるので時間が必要だということである。(小林部長)

- ・この協議会で長期的課題であると位置付けるのはおかしい。(馬場委員)

- ・発達支援センターの設置については短期的課題にすべきである。(高橋委員)

- ・それでは、短期・長期ではなく、全体的に課題が3点あるとして、①障害児をもたない保護者は、自分たちの問題として受け止められない人もいる。②就学前・就労への連続性が円滑でない。③発達支援センターの設置。ということで整理する。(小林部長)

### (4) 課題解決に向けて

#### ① 保護者の理解について

- ・健常児、障害児と一緒に教育することが、保護者への理解にもつながる。(渡辺孝之委員)

- ・指導室で市民向けの特別支援の理解にかかわる学習会を企画

している。生涯学習課で出前講座の依頼を受けている。指導主事が出張していく。(豊岡指導室長)

・障害のある子供の保護者が子供の産まれる前や小さいうちに研修を受ける機会はあるのか。(村岡委員)

・小金井市以外で出産した。早期プログラムが充実していた。保護者の情報交換する場もあった。幼児の療育の場が確保されていた。小金井でも療育の場が必要である。(堀委員)

・保護者が安心できる環境が必要である。(村岡委員)

・家庭教育学級で特別支援にかかわる講座を行うなど特別支援学級設置校以外でもやっていただきたい。(馬場委員)

・学校では特別支援に関して簡単な説明しかなかった。保護者が悩んでいる場合がある。全体保護者会できちんとした説明があるといい。(渡辺真紀委員)

・特別支援教育は平成19年度から実施された。特別支援コーディネーターが各校1名指名されている。校内委員会で個々の対応について取り組んでいる。さらに特別支援教育が推進されるよう各学校に働きかけていく。(豊岡指導室長)

・学習会で経験のある保護者の方が話をするのもよい。(高橋委員)

・保護者の様々なニーズに応えた学習会を考えていきたい。(豊岡指導室長)

・特別支援は特別な教育ではない。ユニバーサル教育、すべての子供のための教育であり、だれにとってもいい教育である。(高橋委員)

・ひまわり保育園に言語聴覚士、作業療法士が今年度から来てもらっている。保護者が気軽に相談している。身近にすることが大切である。(鈴木委員)

・特別な支援を必要とする子供の実態を把握しているか。特別支援学級の在籍数が増加している。通常の学級で支援すべき子供が特別支援学級へ入っていることはないか。(浜井委員)

・通常の学級の子供の支援として通級指導があり、子供の数は増加している。その子供がどこで教育を受けるのがよいのかは、個々に応じ保護者とともに考えていく。(事務局)

・人数が増えているかについては、気付きの問題、環境の問題等があり決着していない。実数は増えている。2006年に小金井市でも行っている。また、調査はできないか。(高橋委員)

- ・検討したい。(指導室長)
  - ・学校、学童、保育園の巡回チームの連携ができていないのではないか。(馬場委員)
- ② 就学前からの連携
- ・調布市作成の「iファイル」をご覧ください。継続した一貫した支援が可能である。関係機関のよりよい連携が図れる。(事務局)
  - ・調布市ではどのように活用しているのか。このファイルを教育支援計画につなげることができる。小金井ではどうなっているのか。(高橋委員)
  - ・個別の教育支援計画は校内委員会で保護者の理解のもと作成している。(事務局)
  - ・就学支援シートは就学相談を受け、特別支援学級に入る子供について作成している。シートの活用拡大については検討中である。(前島学務課長)
  - ・調布市での活用の仕方、支援ファイル等関連資料については、次回報告することとする。(小林部長)
  - ・賀川学園ではファイルを作成し、就学時にそのままあげている。サポートブックもできた。(尾島委員)
  - ・発育歴、個別指導計画等が記入できる。(馬場委員)
  - ・参考資料としたい。(小林部長)
  - ・級数だけでは判断できないものがある。実際に見ないとわからないこともある。(小野山委員)
  - ・ダウン症の会でもサポートブックができています。理解が深まる内容である。(佐野委員)
  - ・東京都医師会が無料で5歳児検診を始めた。今後このようなことも情報提供ができればよい。(栗原委員)
- 5 事務連絡
- ・次回のネットワーク協議会は秋ごろ開催予定である。(事務局)
  - ・保育については、事前に申し込んでいただくなどして、次回もできるか検討する。(小林部長)
  - ・幼稚園連合会の特別支援にかかわるアンケート結果について集計中である。施設の問題、理解不足等いくつかの課題がある。(渡辺孝之委員)